

令和7年第3回会津坂下町議会定例会

一般質問通告書

◎ 9月8日（月） 午前10時より

順 番	議席番号	氏 名
1	10	五十嵐 一夫
2	5	横山 智代
3	1	高久 敏明
4	3	目黒 克博
5	6	小畑 博司

◎ 9月9日（火） 午前10時より

順 番	議席番号	氏 名
6	7	佐藤 宗太
7	4	物江 政博
8	12	酒井 育子

令和 7年 9月

第 3 回 定 例 会

一 般 質 問 通 告 書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 10番 五十嵐 一夫

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1、町役場が町中心から移転したとき、庁舎がなくなった時、どのような町中になるのかを想像し、庁舎・町職員・町賑わい活性を関係づけて町長はどのように思っているのか胸中をうかがう。
			第2、ふるさと納税を、高校生の通学補助への支援や、学校給食費の無料化等に充当できないか。ふるさと納税の寄付の選択別金額、寄付の充当の詳細を問う。
			1、 寄付の選択別金額は如何程か。 2、 町外への高校生通学費の支援補助を。(高校入学を機に町外に移住することの抑制対策にもなる) 3、 近い将来国の施策として学校給食費が無料化になる情勢であり、無料化に取り組んだ自治体になろうではないか。 4、 寄付の充当の詳細について。
			第3、地域内交通の確保や観光モビリティの展開等に、国土交通省が推進する「グリーンスローモビリティ」(電動カート公道仕様)の導入を提案する。

令和 7 年 9 月
第 3 回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 5 番 横山 智代

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
第 1 教育行政について			
1			今年も行われた全国学力テストについて検証と今後の課題は。
2			学力テスト（全国）についてどのように考えるか伺う。
3			小・中学生に今の「ジェンダー問題について」「平和学習について」 どのように学習指導を考えているのか伺う。
4			学校給食については食材費高騰分に対しての補助を続けているが、地元の 安心・安全な食材の使用と今の物価高に対してせめて給食費の一部補助は 検討できないのか。
第 2 福祉行政について			
1			「町の福祉行政」についての考えと、今後の「福祉」のあり方について伺う。
2			年金は減り続け、物価高は続き、加えての異常気象の連続。 私たちそして高齢者の暮らしは益々苦しくなるばかり。 そんな中（1）高齢者の加齢性難聴者に対する補聴器購入補助（2）福祉 灯油の支給（生活支援の拡充）をぜひ検討すべきと思うが、町の考えを伺う。

令和 7 年 9 月

第 3 回定例会 一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 1 番 高久 敏明

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
第 1			人口減少の現状と課題、その対応策について次の点を伺う
1			町人口の将来展望については第六次振興計画後期基本計画の中で、2045 年以降 1 万人規模の人口を維持するとありますが、現状の人口動態を踏まえると目標達成は難しいのではないかと考えますが、町の見解を伺う。
2			合計特殊出生率について、会津坂下町では 1993 年～1997 年には 1.94（全国数値 1.44）から、2018 年～2022 年には 1.36（全国 1.33）と急激に減少しているが、この原因についてどのように分析しているのか伺う。
3			当町への移住定住の促進について、現在の対策状況と今後どのような考えで施策を進めていくのか伺う。
4			人口減少により担い手不足が懸念されておりますが、現状をどのように認識しているのか伺う。
5			上下水道などのインフラ施設は、人口減少によって利用者が減少しても施設の維持管理やサービスの提供には一定のコストに係るため、税収の減少により町の財政が縮小してくると今までの行政サービスを維持するのが難しくなるのではないかと懸念されますが、その対応策を含め町の見解を伺う。
6			人材や財源に限られる中で、今後も行政サービスを維持充実させていくためには、近隣自治体との広域連携を様々な分野で進めていくことが必要となるのではないかと考えるが、町の見解を伺う。

令和 7 年 9 月
第 3 回定例会 一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 3 番 目黒克博

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第 1 教育関連施設の安全管理について。
			1、登下校に関する安全管理について伺う。 公共交通・自家用車で送迎は、様々な事故を想定し安全に運行しなければなりません。 過去にはバス乗降時の安全性に問題があり、場所を変更された事例もありました。時間帯によっては危険度が高まるなどを懸念し、路線・待合場所等の安全性について伺う。
			2、施設の安全管理について伺う。 (1) 冬期間時の雪崩等の出入口の安全性について伺う。 (2) 敷地内の車両出入の安全性について伺う。 町の各指定児童園含む
			3、施設の防犯対策について伺う。 様々な危機管理の中で侵入防止対策が重要であるが、防犯カメラの設置、オートロックの設置、防犯マニュアルの整備などの対応手順を明確にし、職員全員で共有されていると思いますが、現在の対策方法に改善点はあるのを伺う。
			4、南幹線の歩道について伺う。 小川原（コンビニ前）～沢ノ目（踏切）までの区間に「自転車」通行を促す自転車マークが描かれ、歩道の中心に白線が引いてあります。歩道通行の安全を守る為に沢ノ目からの白線の延長について、町の考えを伺う。
			5、町公共駐車場に於ける車両駐車方法の周知について伺う。 過日保育所駐車場で起きた自動車暴走事故に伴い、再発防止の意味で公共駐車場全般に車外時は「エンジンストップ」の呼び掛けの周知をすべきと考えるが、町の考えを伺う。

No.5



令和7年9月
第3回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 6 番 小畑博司

会津坂下町議会議長

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1、行政のやる気が町民に伝わっているか。 厳しい財政運営のなかでも、町民福祉の向上のため全力で行政運営に取り組んでいると思う。 国・県の施策実現は当然のことではあるが、国・県の施策も町民の実態に寄り添ったものとは限らない。工夫をこらしながら、また、独自の財政を投入しながらの施策も展開してきていると認識しています。 今、わが町に必要な施策は何か、職員全体が共有し、具体化しているけれども町民に伝わっているのだろうか。 事業の意義を伝える広報や結果を検証する広報などは、町民目線での分析を基に広報する体制が必要ではないか。
			第2、ライヴァン通りに建設予定の振興施設に、町の歴史を示す古文書などを収監し、利活用をする考えはないか。また、旧坂下高校体育館にクライミング施設を設置し、年間を通した活用すれば若者も、高齢者も健康づくりに貢献できると思うがいかがか。
			第3、元気な高齢者など、町民の力を借りて子どもの居場所づくりを考えてはどうか。
			第4、主食であるコメの安定供給をはかるため町は何ができるか。

No. 6



令和 7 年 9 月

No.

第 1 号
受付

第 3 回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 7 番 佐藤 宗太

会津坂下町議会議員 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1 魅力あるまちづくりについて
			1. 当町の理想的な町並み景観をどのように考えているか。
			2. 未来に向けた町並み景観を創造するため、「歴史的景観指定建造物」などを指定し、保存・活用を図るべきと私は考えるが、当町の見解は。
			3. 外観が伝統的様式や技法であり築年数の古い建造物を購入する際に、購入支援や改装支援をし、未来に向けた町並み景観に取り組む考えは。
			第2 インクルーシブ教育について
			1. 当町におけるインクルーシブ教育の現状は。
			2. 類似自治体と比較し当町のインクルーシブ教育をどのように分析しているのか。
			3. インクルーシブ教育における基礎的環境整備や合理的配慮は十分になされているか。
			4. 当町が目指すべきインクルーシブ教育をどのように考えているのか。
			※インクルーシブ教育（システム）とは、人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。

No. 7



令和 7 年 9 月
第 3 回定例会一般質問通告書

No. _____

会津坂下町議会議員

質問者氏名 4 番 物江 政博

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
第 1. 鳥獣対策について			
1. 当町の鳥獣被害防止計画を伺う			
(1) 被害の軽減目標の根拠を問う			
(2) 今後の被害防止対策を問う			
(3) 被害農家への支援の施策を問う			
(4) 鳥獣被害防止する為の隣接町村との連携を問う			
(5) 有害鳥獣目撃情報に関する住民への告知方法を問う			
(6) 今後の捕獲隊員の現状を伺う			
第 2. 運動施設について			
1. 坂下高校跡地はどうなるのかを問う			
2. これから当町にスポーツ施設建設の計画はあるのかを伺う			
第 3. 財政政策について			
1 本年度の当町のふるさと納税額の見込みとその根拠を問う			
第 4. 豪雪対策について			
1.豪雪に伴う当町の雪捨て場の確保状況を問う			

令和 7 年 9 月

第 3 回定例会 一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 12 番 酒井 育子

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
第 1 町政を問う			第 6 次会津坂下町振興計画後期基本計画が作成され、まちの将来像を「やっぱり“ばんげ”がいい」住み続けたい、住んで良かったと言える笑顔あふれるまちづくりのスタートであります。 約 140 項目の多岐にわたる実施計画書の中から 10 年～20 年先を見据えた「持続可能なまち」づくりを進めていく上から、激減している人口問題、目前に新庁舎の建設など、財政の健全化・町税に見合った職員定数の現状について伺います。 1 人口が激減している状況下、10 年～20 年先を見据えた当町では、町税・基金・公共施設の統廃合管理計画等迅速に進めるべきと思うが、どのような方策を講じ進められるのか問う。 2 財源・人口に見合った職員定数計画について問う。
第 2 県立坂下高校跡地の無償譲渡について伺う			県立高校改革によって、大沼高校との統合により閉校となって 2 年が経過。 福島県では、無償譲渡し、更に利活用を支援するために、1 校当たり 5 年間で最大 3 億円の補助制度を新設したりして、町が利用の仕方を検討していけるように後押しするとしているが、現時点での町の考えを伺う。 1 無償譲渡の詳細な内容については。 2 今後の予定は。 3 あたたかいまちづくりの一端として「障がい者の福祉施設エリア」にして、共同作業所・グループホーム・介護施設・住宅など連携した構築をすべきと思うが伺う。